



平成17年11月17日

各 位

会社名 住友石炭鉱業株式会社
 コード番号 1503 東大
 代表者名 代表取締役社長 藤崎 勝弘
 問合せ先 執行役員経理部長 滝田 出
 TEL (03) 5733 - 9902

平成18年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成17年8月19日に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 18年3月期 通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(1) 単独

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	46,000	2,200	△ 1,200
今回修正予想(B)	42,000	2,300	△ 1,300
増減額(B-A)	△ 4,000	100	△ 100
増減率	△8.7%	+4.5%	-
前期(平成17年3月期)実績	36,640	1,357	1,342

(2) 連結

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	53,200	2,300	△ 900
今回修正予想(B)	45,600	2,300	△ 1,200
増減額(B-A)	△ 7,600	-	△ 300
増減率	△14.3%	-	-
前期(平成17年3月期)実績	52,404	1,271	1,415

2. 修正の理由

(単独)

需給緩和感から石炭のスポットマーケットが下落傾向にあり、販売量の伸びが期初想定ほど見込めない状況にあることなどから売上高は40億円の減少を見込んでおります。但し、これによる損益への影響額は軽微であり、加えて豪州ワンボ社(炭鉱経営)からの受取配当金が中間期において増加したことなどにより経常利益は1億円の増加を見込んでおります。一方で焼結事業の分社化に伴う費用など特別損益が中間期において悪化したことにより当期純利益は1億円悪化する見込みです。

(連結)

単独業績の修正を主要因として修正するものです。売上高の減少幅が単独業績に比べ拡大するのは、関係会社の一部で公共工事の低迷による受注減少の影響が期初予想を上回ると見込まれるためです。また、当期純利益につきましては、単独業績の修正の他、関係会社の減収の影響並びに土地売却のずれ込みなどにより3億円悪化する見込みです。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(参考)18年3月期 中間期(平成17年4月1日～平成17年9月30日)の実績

(1) 単独

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,300	1,400	△ 1,900
今回実績(B)	20,365	1,542	△ 2,014
増減額(B-A)	65	142	△ 114
増減率	+0.3%	+10.1%	-
前期(平成16年9月期)実績	16,860	483	749

(2) 連結

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	23,500	1,400	△ 1,700
今回実績(B)	22,371	1,482	△ 1,936
増減額(B-A)	△ 1,129	82	△ 236
増減率	△4.8%	+5.9%	-
前期(平成16年9月期)実績	30,290	403	860

以上